



山形市立金井中学校
学校だより
令和 7 年 5 月 15 日発行

貢献 自立

令和8年度生徒会スローガン 『Gear』

5月11日(月)生徒総会において、本年度の生徒会スローガンと活動目標、各委員会の活動内容について協議・決定しました。以下は、生徒会による【スローガンに込めた思い】です。



スローガン「Gear」には、一人ひとりが歯車(個性)として役割を果たし、互いに支え合いながら動くことで、大きな力を生み出すという意味を込めています。また、歯車(個性)は一つだけでは動くことができず、複数が組み合わせることで初めて機能します。

特に今年は、「貢献 自立」という2つの歯車を大切にします。「貢献」とは周囲や学校のために行動する姿勢、「自立」とは自ら考え行動する力です。また金井中には、一人ひとりの力をつなぎ合わせ、学校全体を大きく動かしていく力が必要です。この二つの歯車がかみ合うことで、よりよい学校づくりにつながると思います。

金井中をつくっていくのは、生徒会を組織する皆さん一人一人です。全校生で取り組んでいきましょう。

金井中学校 創立79周年記念式

山田博志校長先生の式辞では校舎の歴史やこれまでの先輩方の歩みを踏まえ、自分の新たな目標を設定すること、齋藤昭弘同窓会長の祝辞においては、中学校の3年間で皆さんに期待することなどをお聞きしました。

また、今年度の記念講演は、佐藤孝弘山形市長より『山形市のさらなる飛躍に向けて』、長谷川幸司市議会議員より『県都の未来をつくるため～市議会議員のしごと～』の演題でご講話いただきました。山形市の良さや山形市としての取り組み、また長らく続いてきていると思っていた事業(日本一の芋煮会フェスティバル・ラーメンの聖地)の始まりなど、知っているようで知らなかったたくさんのお話をお聞きしました。

また、次世代を担う中学生の皆さんに期待することについても佐藤市長、長谷川議員それぞれからお話いただきました。校長先生の講師紹介のお話でもありましたが、これからの山形市を、山形県を、日本をどうしていくか、皆さん自身で考えていく必要があります。

ぜひ、記念講演で心に残ったことをお家で伝えてください。



山形に何ができるか
・山形のこともっと知ってほしい、もっと興味を持ってほしい
・山形が元気になることをどんどんやってほしい



議員は市民や地域の要望を具現化する仕事
・若者に行ってほしい
投票した一票が政治に反映される